参考資料

ＩＣＦに基づくアセスメントの視点例

健康状態

□病名と症状　□服薬内容　□既往歴
□主治医　□受診行動（頻度、方法）　など

心身機能・構造

□睡眠の内容（不眠、中途覚醒、服薬の有無）
□栄養（増加、減少、嗜好、水分摂取状況）
□視覚・聴覚・痛みと日常生活の支障の程度
□口腔機能と衛生　□排尿・排便障害
□筋力　□全身持久力
□精神面（抑うつ、認知機能）

活動

□立ち座り、浴槽のまたぎなどの起居動作
□移動（屋内・屋外歩行）　□運搬動作
□洗髪・洗身　□爪切り・耳掃除
□下着・衣類の脱着
□買い物　□金銭管理　□簡単な調理
□掃除　□整理整頓　□洗濯
□服薬管理

参加

□外出先の有無
□趣味活動
□友人・親戚の交流
□地域の居場所
□日中の活動の有無
□その他
（　　）

生活機能

＜背景因子＞

環境因子

□家族構成及び家族の健康状態　□家族・親戚との交流つながり
□経済状況　□住環境（立地状況）
□公共交通機関へのアクセス　□よく利用していた社会資源
□福祉用具・自助具　□医療・保健・福祉サービス
□友人など家までの距離
□その他（　　）

個人因子

□年齢　□生育歴　□趣味・嗜好
□性格　□価値観　□職歴
など